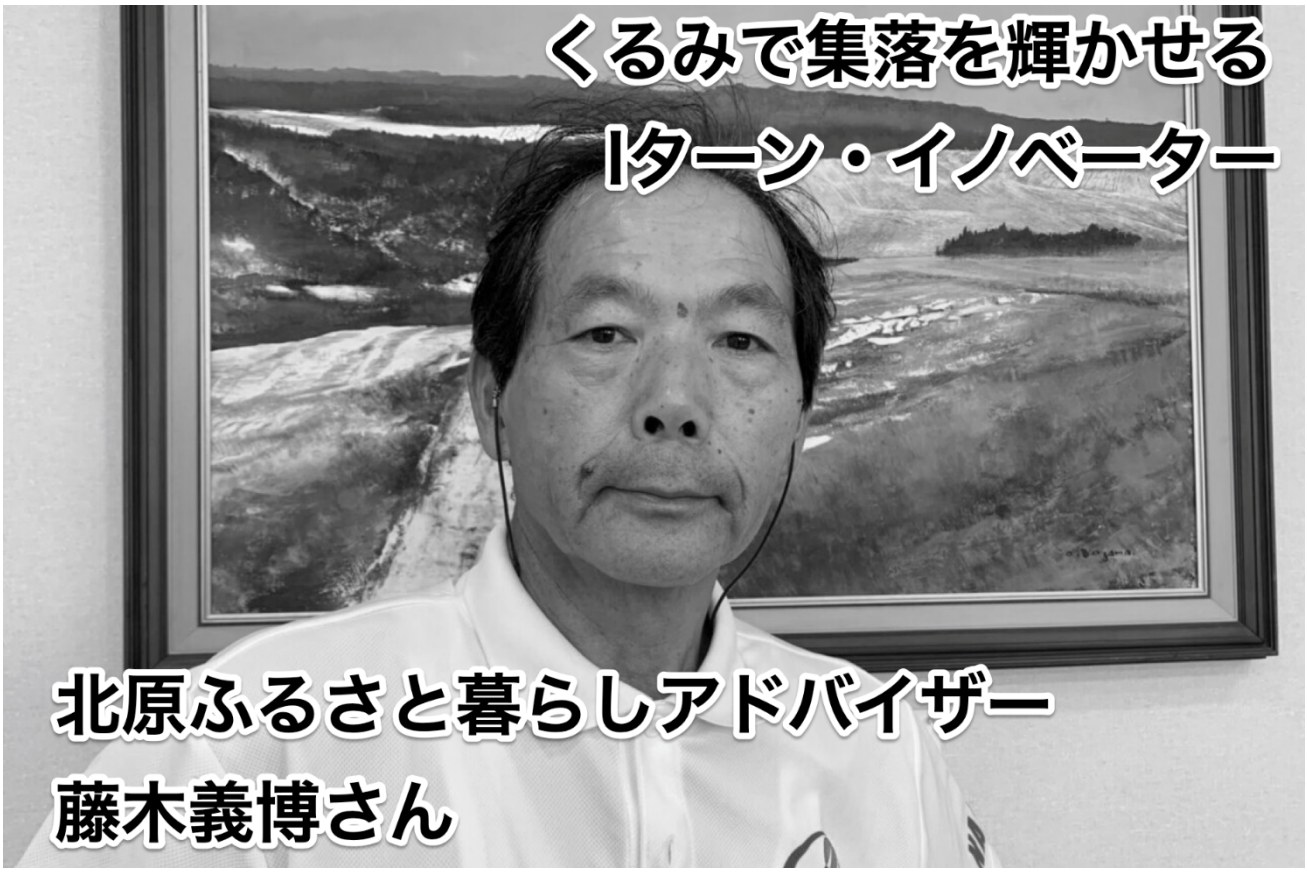

藤木さんは大学卒業後、千葉県で小学校の先生を長年勤め、50 代を迎え定年後の生活を考えた時に、農作業をしながら暮らすことに憧れる。そしてついに、飯山市北原区にある田畑もついた古民家を購入し、移住生活を始めた。

現在、ふるさと暮らし支援委員会を結成し活動している。また、北原ふるさと暮らし学校を開催し、都市生活者に農村暮らしの魅力を伝えている。

さらに、荒野農地を活用して、くるみの木のオーナー制度によるコミュニティ・ビジネスをはじめた。今は、このような活動を通してオーナーと住民が交流するクルミの収穫祭や、収穫したくるみを販売する地域会社を立ち上げブランド化に取り組んでいる。

集落のくるみベンチャーで、北原を輝かせるＩターン・ノベーター藤木さんの第 2 の人生も、また輝いている。